

〈報 告〉

ISO 780「包装品の荷扱い及び保管用の図記号」（旧称：一般貨物の荷扱い指示マーク）の改定について

公益社団法人 日本包装技術協会
ISO/TC122国内対策委員会事務局

Revision of ISO 780 “Packaging - Distribution packaging - Graphical symbols for handling and storage of packages”

ISO 780 : 2015 “Packaging - Distribution packaging - Graphical symbols for handling and storage of packages” specifies the requirements during handling, transportation, and storage of packaging for the people who relates with them, by using graphical symbols without language. It makes possible the common instruction and communication for packaging, and contributes to prevent the damage and accident during handling, transportation, and storage of packaging. Therefore ISO 780 was translated and registered to JIS Z 0150 in Japan. Now, ISO 780 was revised to fifth edition and published as ISO 780:2015 in December 2015. The summary of revision is below.

はじめに

ISO 780「包装品の荷扱い及び保管用の図記号」は、包装貨物の荷役、輸送および、保管に関わる作業員への指示を、言葉を用いず図記号で表し、包装貨物の共通の位置に表示することを定めた規格です。これにより包装貨物に対する指示・伝達を世界共通で可能とし、荷役・輸送・保管にかかわる破損・事故を防ぎ、物流品質の向上、および包装の合理化、省資源を可能とすることを目的としています。ISO 780はJISにもなっており、翻訳版がJIS Z 0150「包装－包装貨物の荷扱い指示マーク」となっています。

今回、日本からの提案によりこのISO規格が改定され、昨年12月に第5版となるISO 780:2015 “Packaging－Distribution packaging－Graphical symbols for handling and storage of packages”（包装品の荷扱い及び保管用の図記号）が発

行されましたので、改定の背景とその概要を紹介いたします。

1. 旧版の課題

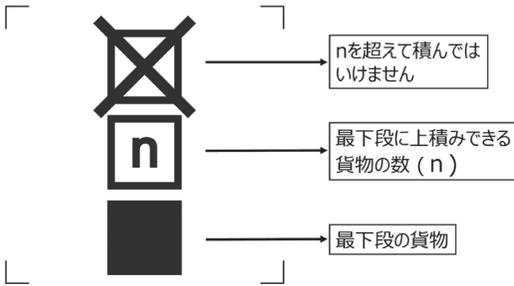
旧版である第4版（ISO 780:1997 “Packaging－Pictorial marking for handling for handling of goods”）は、1985年に発行された第3版を改定し、1997年に発行されました。第3版から第4版への主な変更点としては、

- a) 「上積み段数制限」シンボルの新規追加
- b) 「熱及び放射性物質からの保護」シンボルが「放射性物質からの保護」に変更
- c) 「転がし禁止」シンボルの変更

などが挙げられますが、特に「上積み段数制限」のシンボルは、中に示す数字の意味を

「In symbol No. 14, “Stacking limitations by number”, n indicates the maximum number of

図1 ISO 780による上積み段数制限シンボルの意味



packages stacked. (シンボルNo.14において、「数値による積み重ね制限」「n」は積み重ねた包装貨物の最大数を示す)」(2.4.4項)

「Maximum number of identical packages which may be stacked on one another, where “n” is the limiting number. (同一の包装貨物を互いの上に積み重ねることができる最大の数, “n” は制限数である。)」(Table 1 #14)

と定義され、当時の JIS Z 0150:1988 で定めていたシンボルの「総積段数」と異なる定義(最下段の貨物の上に積むことができる最大の数)となりました(図1, 図2)。

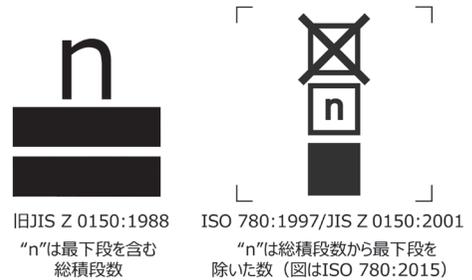
このため同じ積段数の場合、ISO 規格に基づく表示は JIS に対して“-1”の数値を記載する必要が発生し、輸出入や海外生産での混乱を避けるため、ISO 規格に合わせた JIS の改定が必要となり、2001年に同規格の翻訳版 JIS Z 0150:2001が発行されました。

このため JIS Z 0150:2001の「上積み段数制限」シンボルの運用に対しては、日本規格協会や担当省庁をはじめ、当協会にも多くの質問が寄せられる結果となりました。また、ISO 780:1997を運用する一部の国では、異なる解釈による運用(総積段数で表示)も発生し、問題となっていました。

2. ISO 780改定に向けた活動

今回の改定作業は、このような問題を踏まえ、ISO 規格の定期見直しにおいて日本から提案し

図2 JIS Z 0150:1988とISO 780の上積み段数制限シンボルの違い



たもので、2011年に包装に関する ISO の専門委員会「ISO/TC122」の委員会内投票で承認され、プロジェクトリーダーも日本が務めることで活動が始まりました。

改定に際しては、この規格のすべてのシンボルを ISO/IEC の基準に基づくデザイン・データに修正し、これを統括する「ISO/TC145」が所管する ISO 7000に登録し直す必要も発生し、作業期間を延長してデザイン・データの変更と登録を行いました。

また並行して進められていた ISO 780本文の改定原案は、2014年5月に開催された ISO/TC122総会で、CD(委員会原案)が承認され、以降 ISO のルールによる2度の審議・修正・投票を経て2015年12月、ISO 780:2015として発行されました。

3. ISO 780:2015主な変更点

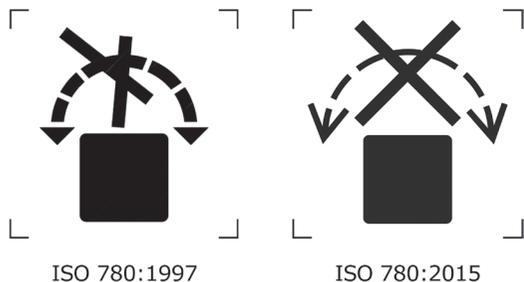
ISO 780:2015の主な変更点は以下の通りです。

a) 上積み段数制限

定義がより具体的になり、その意味が「Maximum number of identical transport packages/items which may be stacked on the bottom package, where “n” is the limiting number. (意味: 同一の輸送包装/アイテムを最下段の包装の上に積み重ねることができる最大の数, “n” は制限数である。)」と記載されました。

また同じ欄の要求事項の注意として「The number “n” does not include the bottom pack-

図3 禁止を表す「×」印の変更例



age. (数“n”は最下段の包装貨物を含まない)」と、最下段の包装貨物を含まないことが明確に記載されました。

b) 禁止事項を表す「×」印の変更

従来禁止事項を表す「×」印は、一部を除き斜めの「×」が使われていましたが、視認性を確保するために左右対称の「×」としました(図3)。

c) 各シンボルの説明の変更

従来はシンボルの意味が記載されていたのですが、改定版では「Meaning (意味)」と作業者に対する指示「Requirements (要求事項)」が記載され、指示内容がより明確になりました。

d) シンボルの用途別グループ表示

シンボルを用途別に分かりやすくするため、以下のようにグループ化しました。

Table 1 大型の包装貨物用のシンボル

Table 2 すべてのタイプの中型および小型の

包装貨物用のシンボル

Table 3 手荷役を行う中型および小型の包装貨物用のシンボル

Table 4 機械荷役用のシンボル

Table 5 輸送と保管、両方に用いるシンボル

Table 6 保管に用いるシンボル

4. ISO 780:2015のJIS化

ISO 780:2015は今後JIS Z 0150の改定によって国内標準に落とし込まれる予定です。詳細は未定ですが、決まり次第、この誌面上でお知らせいたします。

※ ISO 780:2015の入手について

ISO 780:2015は一般財団法人日本規格協会(または同協会のWebストア)で原本冊子またはPDFを購入することができます。(2016年3月8日現在、邦訳版はありません)

<http://www.jsa.or.jp/>

謝辞

今回 ISO 780の改定にご尽力いただきました ISO/TC122/ISO780国内対策委員会メンバーの皆様、この場を借りてお礼申し上げます。

(執筆者 金子武弘)